

vol.98

2017年12月号

公益財団法人国際障害者年記念 ナイスハート基金

〒105-0022 東京都港区海岸 1-4-26 ゆうらいふセンター

電話：03-3434-2170 FAX：03-5401-0681

URL：<http://www.niceheart.or.jp/>



なほはあと



ふれあいのスポーツ広場米子大会「エアロビク」体験の様子

| | |
|--------------------------------------|---|
| 表紙／写真 ふれあいのスポーツ広場米子大会 | 1 |
| 報告／ふれあいのスポーツ広場レポート | |
| 成田 亜季保さん（日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科） | 2 |
| 齊藤 葵さん（仙台大学障害者スポーツサポート研究部 Co-Act.） | 3 |
| ふれあいのスポーツ広場集計表 | 5 |
| 報告／ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ報告書 庄崎隆志さん | 6 |
| 特定寄付金決算報告書 | 8 |
| 賛助会員お礼 | 8 |





ふれあいのスポーツ広場に参加して

日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科
成田 亜季保

私は、障害の有無に関わらず、みんなで楽しむことができる「ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場」が大好きです。そこでは、一日を通して、さまざまなプログラムを行います。午前中は、ロープ送り、ホールインワン、風船バレーを行います。午後は、実行委員も加わり、参加者と一緒になり、ストレッチとじゃんけんダンスで盛り上がります。今日初めて会った人同士も、いつの間にか仲良くなり、帰り際にはハイタッチや握手をしてくれます。参加者からの「楽しかった」という声で、来てよかった、また参加したいと思わせてくれます。

心掛けていること

午前中は、プログラムのサポートをメイン



に行きます。サポートといっても、用具の準備や誘導ではありません。競技中は、みんなが盛り上がるよう「頑張れ」や「打ち返して」など声をかけます。参加者のみなさんは、とても真剣で、私も応援に熱が入ります。その他にも、風船を上手く見つけられない方へは風船を持っていき、打ちやすい高さで渡すことや、風船に触れない人へは、少し離れた場所から一緒に競技を見たりしています。このように、参加者に楽しんでもらうためには、どのようにサポートしたら良いのかを常に考えながら活動しています。

午後は、日本福祉大学の学生がメイン担当でストレッチとじゃんけんダンスを行います。今まで競技のサポートをしていた実行委員のみなさんも一緒に参加をします。多い時で500人ぐらいの参加者が、私の言葉に耳を傾けてくれます。説明の際には、どのような言葉を使ったら全員に伝わりやすいのかを考えながら話すようにしています。また、自分自身が楽しむことを心掛けています。

学んだこと

私はこれまで7回、ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場に参加しました。緊張のあま



り内容を忘れ、順番を間違えてしまったことが何度かあります。しかし、その課題を次回は失くそうと練習を重ね、ミスが少なくなりました。そして、いつの間にか自信を持って話ができるようになり、人の前に出て話すことが好きになりました。自分の言葉に一人ひとりが反応してくださるのがステージからみてわかり、参加者の笑顔を見るととても嬉しい気持ちになりました。ふれあいのスポーツ広場は、私にとって成長することができた場所です。これからも、みなさんに笑顔になってもらえるように活動していきたいです。



ふれあいのスポーツ広場に参加して

仙台大学障害者スポーツサポート研究部 Co-Act.
齊藤 葵

「笑顔と元気は連鎖する」これは私がNice Heartふれあいのスポーツ広場に参加して感じたことです。

私達、障害者スポーツサポート研究部 Co-Act. は午後のレクリエーションと競技を担当させていただいています。レクリエーションでは、グーとパーを交互に入れ替える「グーパー体操」、勝つ手を後出しで遊ぶ「後出しジャンケン」、指定された人数で集まる「ご

当地ゲーム」の3つを行っています。競技では、ネットに乗せた巨大なボールを4人で運ぶ「ジャンボールリレー」、5人で輪になってボールを運ぶ「輪になって運ぼう」の2つを行っています。これらの説明をどのようにすればよりわかりやすく伝えることができるのか、より楽しんでもらえるのかを試行錯誤しながら日々邁進しています。



ナイスハートを通して

ナイスハートふれあいのスポーツ広場には何百人の人が参加しています。その中で説明をするということは私にとって新鮮であると同時に不安でもありました。それに加え、普段から心配性なところがあるため本番直前はいつも「きちんと説明できるだろうか、楽しんでもらえるのだろうか」と弱気になってしまい、表情も固くなっていました。しかし、本番が始まると参加者さんが楽しそうに笑ってくれたり実行委員さんが一生懸命盛り上げてくれたりしてくれました。そんな皆さんの様子は私の不安を消し、元気と心からの笑いをもたらしてくれました。この時私は、自分

が支えているようで本当はたくさんの人に支えられていたのだと気づくことができました。

これらの経験を通して「笑顔と元気は連鎖する」ということを学ぶことができました。それもたくさんの方の協力があってこそのものであるということを忘れずに感謝の気持ちを大切にしていきたいと思います。今後のナイスハートに来て下さる参加者さんや実行委員さん、ナイスハートふれあいのスポーツ広場の関係者のみなさんの中には悲しいことがあったり、元気が出なかったりする人がいるかもしれません。そんな時、今度は私達が最高の笑顔と元気でたくさんの人に幸せを連鎖させていきたいです。



平成 29 年度下半期ふれあいのスポーツ広場開催報告

平成 29 年度のふれあいのスポーツ広場について、下半期の開催報告を致します。下半期は 19 都府県の開催（那覇大会は平成 30 年 3 月 7 日開催予定）となりました。来年度も自動車総連のみなさまと共に、数多くの参加者と笑顔でふれあう大会となりますように準備を進めて参ります。

※ 10 月 23 日（月）に開催予定のふれあいのスポーツ広場千葉大会は、台風により中止となりました。

| No. | 開催地 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|--------------|----------|--------------|--------------------|---------|
| 22 | 北海道（富良野） | 9 月 4 日（月） | 富良野スポーツセンター | 337 |
| 23 | 滋賀（竜王） | 9 月 24 日（日） | 竜王町ドラゴンスポーツセンター | 268 |
| 24 | 山梨（甲府） | 10 月 11 日（水） | 小瀬スポーツ公園 | 260 |
| 25 | 熊本（人吉） | 10 月 14 日（土） | 人吉スポーツパレス | 494 |
| 26 | 青森（青森） | 10 月 16 日（月） | 新青森県総合運動公園マエダアリーナ | 379 |
| 27 | 新潟（新潟） | 10 月 17 日（火） | 新潟市西川総合体育館 | 249 |
| 28 | 和歌山（和歌山） | 10 月 18 日（水） | 和歌山ビッグウエーブ | 563 |
| 29 | 佐賀（小城） | 10 月 22 日（日） | 小城市三日月体育館 | 336 |
| 30 | 秋田（潟上） | 10 月 24 日（火） | 潟上市天王総合体育館 | 371 |
| 31 | 埼玉（入間） | 10 月 28 日（土） | 埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校 | 227 |
| 32 | 三重（津） | 11 月 4 日（土） | 津市一志体育館 | 239 |
| 33 | 大分（別府） | 11 月 7 日（火） | 別府市総合体育館べっぴんアリーナ | 196 |
| 34 | 鳥取（米子） | 11 月 13 日（月） | どらドラパーク米子市民体育館 | 192 |
| 35 | 島根（松江） | 11 月 14 日（火） | 松江市総合体育館 | 349 |
| 36 | 東京（大田区） | 11 月 14 日（火） | 大森スポーツセンター | 124 |
| 37 | 静岡（静岡） | 11 月 18 日（土） | 静岡市北部体育館 | 420 |
| 38 | 大阪（大阪） | 11 月 22 日（水） | 大阪府立体育会館 | 588 |
| 39 | 愛知（岡崎） | 11 月 25 日（土） | 三菱自動車工業岡崎工場内体育館 | 255 |
| 40 | 沖縄（那覇） | 3 月 7 日（水） | 沖縄県立武道館 | |
| 下半期合計（沖縄県除く） | | | | 5, 847 |
| 上半期合計 | | | | 8, 512 |
| 年間合計（沖縄県除く） | | | | 14, 359 |



ノンバーバル・コミュニケーション ワークショップへの思い

庄崎 隆志
Takashi Shozaki



国際障害者年記念ナイスハート基金のノンバーバルコミュニケーションワークショップ企画が立ち上がってから三年になります。

演劇、舞踊、人形芝居、落語など様々な芸能は、本質を突き詰めていけば広い意味でのノンバーバル（非言語）に行き着くと思っています。ノンバーバルを使ってワークショップを行うことで障害の有無を越えてきたと思います。この三年間、全国各地の特別支援学校や障害者施設、病院などをまわり、多くの障害者、障害児の皆さんと出会いました。ノンバーバルコミュニケーション・ワークショップによって、誰もが一人ひとりアートの才能を有しているのだということがわかり、またびっくりさせられることがたくさんありました。それは障害者の方々の不思議な発想によるアートです。言葉が出ない方、発語のない方、「アー」「ウー」と出す人も、動かない方もいます。大きな音や人が苦手で、いつも耳をふさいでいる人もいます。ぴょんぴょん跳ねている

人もいます。彼らは実に個性的でユニークな人たちです。それぞれに動きや個性があるという認識を高め、ノンバーバル活動を前提に、しかし最初からプラン通りに、指導をしようと考えないで参加者の目線で一緒にワークショップをスタートさせました。カラダ遊びをしながら自然に表現活動につながっていくように展開させれば、どのような障害があっても、誰もが演じる力を発揮してくれると考えることが大切だと思います。

九州は、昨年4月14日には突然の熊本地震、そして7月には福岡県朝倉市、大分県日田市などの九州北部豪雨に見舞われました。この大きな被害から数ヶ月後、大分で開催予定だった全九州ろうあ者大会は中止となりました。被害を受けた様々な障害者はどうしているのだろうか。恐怖と不安のただ中において怯えながらいたと思われる障害者の皆さん。何か支援できたらと思いながらも、私のような仕事の者は無力さを感じていました。この一年後、国際障害者年記念ナイスハート基金から依頼があり、第66回全九州ろうあ者大会にてアトラクションに出演したり、分科会、熊本県内の障害者施設三カ所を回ることになりました。ノンバーバルコミュニケーションワークショップと芝居の楽しさを通して参加の皆さんへの励ましや心の回復につながることを願いながら、粘り強く「笑い」の支援活動をしていこうと思い、引き受けました。被災者の皆さんは再生に向けて力強く躍動しているように感じました。



アトラクション「チャップリンソロパフォーマンス」

1日目は全九州ろうあ者大会分科会でのワーク

ショップでした。4時間余り、ハラハラ、ドキドキ、ワクワクしたり、大笑いして、すっかり打ち解けた仲間同士のような気分になりました。

2日目はこの大会のアトラクション出演としてチャップリンの「街の灯」を上演させて頂きました。共演者の貴田みどりさんと二人だけではもの足りないので、分科会の参加者の中から七人が一緒に即興的劇遊びなどを楽しみました。

2日目の午後と3日目は、熊本県内の障害者施設三カ所でのワークショップを行いました。内容はアイスブレイクとしてハイタッチ、ミラーリング、汽車ポッポなどを行いました。特にホワイトボードを歌舞伎の定式幕の替わりにし、幕をあけると、みんなが自分を見てくれている、僕らとつながっている—こんな思いが「自信」を生み出してくれます。ポーズや動きは皆さん様々です。歌舞伎の見栄ポーズのような、ダンスのような決まったスタイルではなく、自然な動き、自由奔放に踊り出します。形や決まりにとらわれず自分を自由に思いっきり表現します。予定調和は存在しません。即興ダンスやジャズのセッションのようなものです。

ある障害者施設でのワークショップ終了後、施設長から「ああ、このひとたちが心の底から笑ってくれた！42年も笑顔を見せしてくれない人がいたが、今日は表情が緩み笑顔がようやく出ていた」と言われました。涙を溢れさせそうになりながら話してくれた施設長のことが忘れられません。こちら嬉しくなります。

動くのが苦手な人もいます。そんな人を無理にはやらせません。面白いのを見ている人もその表情や



ワークショップ「指パフォーマンス」

行動に変化がみられます。熊本県内の障害者施設のどこの参加者も笑顔でこちらが元気をもらい、「ノンバーバルコミュニケーションの笑うチカラ」を確信しました。

笑顔を見せてくれた参加者の方の息遣いや身体の動きを通じた一人ひとりの心、彼らの気持ちが僕に伝わった時、僕自身の心と身体にも「新しい〜いのち」が吹き込まれ、生きる力が湧いてくるのです。ノンバーバルという人と人を紡ぐ【場】をしつらえるだけで、心の底から笑うというエネルギーが生まれます。また、職員の方や保護者の方、知り合いの方、関係の皆さんが観客として障害者の方たち本人の〈人生の物語〉を観させてもらい、感動を共有できるのでですから、こんなに素晴らしいことはありません。

最後にこの場をお借りして、「街の灯」稽古に向き合ってくれた共演者貴田みどりさん、筑波技術大学の杉先生をはじめ、鈴木さん、高倉さん、若草児童学園、菊陽学園、すみれ園、関係者の皆さんにもお礼を申し上げます。皆さんのお力添えがあったからこそ、たくさんの笑顔がうまれていることにも感謝しています。障害者の方のアートパワーと笑いを信じてこれからも活動を広げ、より強く繋げてゆきたいものです。

～庄崎隆志 プロフィール～

office 風の器主宰・俳優・演出家。

19歳で裏方のアルバイトのつもりで入ったプロフェッショナル劇団「デフ・パペットシアター・ひとみ」で思いがけず役を貰い、俳優に。演出・脚本も手がける。国内で2000回以上、また海外13カ国で公演の経験を持つ。2005年の退団後は公演プロデューサー、また実践女子短大をはじめ様々な教育の場や国立特別支援教育総合研究所等でワークショップの講師としても活躍。映画『ゆずり葉』（全日本ろうあ連盟製作）主演。著書に「障害者と福祉文化」（第8巻・明石書店）他。2010年「第59回横浜文化賞文化・芸術奨励賞」受賞。

ありがとうございました 自動車総連さま寄附金贈呈式

力強いご協力を毎年いただいている、自動車総連（会長 高倉明）様より、6,700万円のご寄付を頂戴いたしました。去る10月24日に贈呈式が行われ、当基金瀬田代表理事が出席し、ご厚志をいただきました。

経済情勢がまだまだ厳しい状況にも関わらず、変わらぬご支援をいただき感謝にたえません。心からお礼申し上げます。

いただきました資金は、全国の障害のある方とのふれあいの場をさらに広げていくために活用して参ります。ありがとうございました。



自動車総連福祉カンパ特別寄贈 贈呈式にて

ありがとうございました・特定寄付募金活動 ナンバーバル・コミュニケーションワークショップ in くまもと

みなさまに募金を呼びかけました「ナンバーバル・コミュニケーション・ワークショップ in くまもと」につきまして、多くの個人、団体のみなさまからご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

また、(福)黎明会福祉開発振興援助事業から貴重な助成金をいただき、充実した事業とすることができました。

9月9日(土)

第66回全九州ろうあ者大会研修分科会 61名

9月10日(日)

第66回全九州ろうあ者大会 700名

若草児童学園 65名

9月11日(月)

熊本菊陽学園 105名

障害者支援施設すみれ園 50名

収支の決算状況につきまして、下記の通りご報告いたします。

募金総額 305,000円 (3団体/11個人)

| 科目 | 決算額 | 備考 |
|----------|----------|------------------|
| (1) 経常収益 | | |
| 受取寄附金 | 305,000 | 特定寄附金 |
| 受取助成金 | 500,000 | (福)黎明会福祉開発振興援助事業 |
| 経常収益計 | 805,000 | |
| (2) 経常費用 | | |
| 事業費 | | |
| 旅費交通費 | 301,904 | 移動費、宿泊費 |
| 諸謝金 | 510,000 | 講師、手話通訳謝礼 |
| 消耗品費 | 17,048 | プログラム消耗品代 |
| 会議費 | 116,852 | 打ち合わせ経費 |
| 通信運搬費 | 16,000 | |
| 経常費用計 | 961,804 | |
| 増減額 | △156,804 | 差額は主催者負担金にて充当 |

ナイスハートなご支援をありがとうございました

当基金が事業を行うための運営資金として、寄付金と賛助会員の会費が重要です。より多くの方々ご趣旨をご理解いただき、ご厚志を賜りますようお願い申し上げます。

■賛助会員 賛助会員 1口 1万円

【賛助会員】

(株)グリーンスマイル様、(福)暁雲福祉会
八風マーヤの園様

【寄附金】

自動車総連様、高良明枚様、島田 初江様

【特定寄附金】

けやきの会 柏木隆子様